

一般質問

12月議会では、13名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。

議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しておりますが、紙面上、文字数に制限があり、なかなか思いや考えを伝えることができません。しかし土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして、詳細をご覧ください。

アクセス方法

視聴の場合	土岐市ホームページ	⇒	市議会	⇒
	議会ライブ中継	⇒	本日の議会中継	
		⇒	過去の映像	⇒ 一般質問
文書の場合	土岐市ホームページ	⇒	市議会	⇒
	議会会議録検索	⇒	会議録検索システムへ	

ホームページアドレス <http://www.city.toki.lg.jp>

《第5回定例会一般質問》



○ 高井由美子 ○

◆ 防災対策に女性の視点を

〔問〕東日本大震災の被災者の避難所生活では、間仕切り、更衣室やトイレの設置など女性を悩ませるさまざまな問題がありました。岐阜県避難所ガイドラインにおいても、女性の視点を生かした避難所運営が示されております。

土岐市防災会議に女性委員を登用し避難所運営や防災計画など女性の声を反映されるお考えを伺います。

〔答〕現在、土岐市防災会議の委員は31名であり、女性委員はいません。今後、女性委員を登用できるように働きかけを強化していきたい。

◆ ワクチン接種の継続

〔問〕医療や介護の充実、子育て支援の強化などを目的に、公明党が国で強力に推進、実現した各種基金事業が今年度限りで終了しますが、公明党では、新年度以降も各種基金の存続を政府に求めています。市民の命を守る子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの継続実施、そして子育て支援事業の妊婦健

診の公費助成による継続支援についてのお考えを伺います。

〔答〕子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの接種については、総事業費の50%弱の補助を国から受けまして、自己負担なしで行っている。新年度につきましても今年度と同様の補助があれば、自己負担なしで事業を実施したいと考えております。

◆ こころの体温計の導入

〔問〕自殺する原因のトップである、うつ病の早期発見のために、誰でも気軽にメンタルヘルスチェックができる「こころの体温計」の導入についてお考えを伺います。

〔答〕今年、全国20市町村で導入されており、来年度、県内2市で導入が予定されている。うつ病の早期発見のため、来年度「こころの体温計」を導入すべく予算計上したいと考えている。

こころの体温計 (本人モード)
 ご本人の健康状態や人間関係、住環境などの4択式の質問13問に回答していただく、ストレス度や落ち込み度が、水槽の中で泳ぐ金魚、猫などの絵になって表示されます。

【赤金魚】自分の病気などのストレス
 ※レベルが上がるほど心が高くなっていきます
 【水の透明度】落ち込み度
 ※レベルが上がるほど心が高くなっていきます

結果画面(例)



小栗 恒雄

◆企業誘致の状況について

問 加藤市長が四月の選挙で当選されまして、早くも八カ月が経過しようとしたしております。市長はトップセールスになって企業訪問していきたいと言われていきます。市民の関心がありますので質問いたします。市長がこの八カ月前、トップセールスとして企業訪問の実績はあるのでしょうか。ご答弁をお願いします。

答 (市長) 日にしたら三日くらいです。どこへ行ったかはお答えできませんが、既に土岐市に事業所のある会社の全体の企業を回らせていただいたというのが一つと、新たに誘致の希望があるというお話があった行った所が一つありまして、今はそういう状況でございます。

問 これから少なくとも三、四カ月前、本当に実績の上がる、企業訪問をやっていたかと思えます。その取り組み、例えば予定とか、意気込みを、お聞かせください。

答 (市長) 基本的には、企業に訪問できる環境をいかに作るかというの

が大事でありまして、紹介してもらって行くということが基本になります。幅広く経済界の方とか、行政の方、また国の方とか、そういう方と接して情報を収集しながら企業訪問を積極的に、やっていきたいというふうに考えています。

◆土岐PRP C街区について

問 行政の継続性の点から、前市長の肝入りで始まった、土岐プラズマ・リサーチパーク内C街区の事業は、継続されるのか、廃止されるのか、そのところをお聞きます。

答 (市長) 商工会議所の方に、どういう形で事業を進めるかと提案し、お話は聞きました。いろいろな構想があったわけですが、その構想について商工会議所の方から、白紙に戻したいとお話がありました。今の経緯はそういうふうでございます。

問 C街区で雇用や税收を確保し、にぎわいも確保したいと前提にして、土地を確保したが、市長の考えは。

答 (市長) 市が購入した土地でありまして、市の活性化とか地域の活性化、雇用に繋がる施設であれば、ぜひ私は進めていきたいと考えていますので、お願いいたします。

問 もう既に八カ月前からおるわけ何か今アイデアがありますか。

答 (市長) 今のところ、具体的な案はありません。

《第5回定例会一般質問》



加藤 淳一

◆防災対策について

問 防災備蓄倉庫の周知と資材・機械の点検と補充等について

答 周知につきましては、防災訓練をするとき、あるいは研修会をするとき、そういうときに皆さんにお伝えをしているつもりでございます。全市的には、市のホームページの中で、土岐市地域防災計画を掲載しております。その中で防災倉庫の位置とか、備蓄しているものの一覧表を載せておりますので、よろしくお願ひいたします。それから備蓄している資材の点検、補充につきましては、消耗品の交換時などに年一回程度在庫確認をしております。それから防災倉庫の備蓄品につきましては、使用期限があるものもございますので、そういったものについては、定期的に交換をして、使用したものは原則補充することになっております。

問 防災無線の緊急時の市民への知らせ方について

答 行方不明者や日ごろの子どもの見守りなどの放送につきましては、最

大音量の6割程度で放送をしております。非常時の場合、あるいは非常時に何か発生する恐れのある場合には最大音量にして放送するということを考えております。又サイレンを鳴らすときの何らかの工夫は、今後検討させていただきます。

◆台風15号による被害状況について

問 9月20日の小中学校の登下校において生徒の安全確保の為にどの様な指示を出されたか。

答 この日は、中学校は体育大会の振替休業日ございましたので、小学校だけが大変な1日でした。8時10分に警報が発令されました。小学校の子ども達は既に登校しておりましたので、学校長と至急協議を行いました。協議の内容は、雨の降りが激しいので、慌てて帰す必要はないということ。それから各学校がこの後通学路を徹底して安全確認をすること。その後、下校時刻と下校の方法について各学校で確立をしないということを指示しました。

午前11時に給食終了後下校しますという市の防災無線を流していただきました。各学校は、今度は保護者への連絡メール、それを利用して下校の時刻と下校の方法を保護者の皆さんに伝え保護者の迎えと、教員による引率によって下校を行いました。午後4時には全員無事帰りました。

